

『みんなで送ろう』 5歳児 12月 にじ組 富雄南こども園



エピソード

戸外での遊びの前にクラスみんなでフラフープを転がしたり、回したり、跳んだりして体を動かす活動を行っています。中でも子ども達が好きなのは『フラフープ送り』。クラス全員で手を繋いで一つの円をつくり、手を使わずにフラフープをくぐって隣の友達に送り、隣の友達もそのフープをくぐってそのまた隣の友達に送っていく遊びです。

遊びが始まると、フラフープを目で追いながら、「足から先に通したらいいよ」「頭をもっと低くしたらくぐるよ」とフラフープの送り方を友達に知らせたり、「もうちょっとや!がんばれ」と励ましたりして自分達で進めていきます。最後までフラフープを送ると「今日は速くてきたね」「送るの上手になってきたね」と互いに認め合う姿があります。

子どもの育ちや学び

- ・友達とフラフープを送ったり受けたりするときの距離の取り方(近づいたり離れたり)や受け渡ししやすい姿勢を考え、スムーズにフラフープを送れるようにする。
- ・フラフープの送り方のコツを言葉で友達に伝える。
- ・互いに励まし合いながら気持ちを一つにしてフラフープを送る。

保育者の思い

- ・リレーやサッカーなどチームに分かれて競い合う遊びは今まで取り組んできたので、個人や全員で同じ目的や目標をもって取り組む遊びにも挑戦してほしいと思い、この活動を取り入れています。
- ・フラフープをくぐるために体のどの部分を動かせばいいかを考え、イメージしたように動かしていくことで、ボディーイメージを育ててほしいです。
- ・友達に言葉で動きや思いを伝える時に、相手の気持ちになって言葉を選んで話せるように伝え方をクラス全体で考えていきたいと思っています。

家庭だったら・・・

- ・体を動かす遊び(なわとび、フラフープ、鉄棒、自転車など)に目標を決めて(例えば、10回跳べるようになるなど)挑戦し、継続して取り組んでいる事や少しでもできたことを認めてあげてくださいね。
→意欲的に繰り返し物事に取り組む姿勢(諦めない気持ち)の育ちや目標を達成できたことで自分に自信をもつことにつながっていくかもしれないですね。